第１回横浜市緑区地域子育て支援拠点運営法人及び子育てひろば私立常設園選定委員会会議録	
日　　　時	令和２年11月９日（月）９時30分～11時00分
開催場所	緑区役所２階　会議室２Ａ
出　席　者	（委員会委員） 吉田委員、井上委員、松浦委員、髙林委員、小野委員、今井委員、松田委員 （事務局） 萩原福祉保健センター担当部長、五十川こども家庭支援課長、山本こども家庭係長、野村こども家庭支援課担当係長、高田係員
欠　席　者	なし
開催形態	公開（傍聴者０人）
議　　　題	１　横浜市緑区地域子育て支援拠点運営法人及び子育てひろば私立常設園選定委員会について ２　委員長及び職務代理者の選出 ３　地域子育て支援拠点の概要について ４　地域子育て支援拠点事業５か年度のまとめについて ５　運営法人の選定方法等について
決定事項等	１　委員長に吉田委員を選定する。 ２　委員長職務代理者に井上委員を指名する。
議　　　事	１　横浜市緑区地域子育て支援拠点運営法人及び子育てひろば私立常設園選定委員会について （資料２により事務局より説明） 【事務局】本日は委員７名中７名全員の御出席をいただいているので、定足数を満たしている。 ２　委員長及び職務代理者の選出 【事務局】委員会要綱第４条第２項の規定により委員長は委員の互選により選定する旨を説明。立候補又は推薦がないか確認。吉田委員をご提案させていただきたいがいかがか。 【委員一同】異議なし。 【吉田委員】了承。 ＜ここから司会を事務局から吉田委員長に引き継ぐ。＞ 【吉田委員長】委員会要綱第４条第４項の規定に基づき職務代理者には地域の代表であり緑区連合自治会長会会長である井上委員にお願いしたい。 【井上委員】了承。 【吉田委員長】本日、傍聴の申出はあるか。 【事務局】傍聴の申出はなし。

	３　地域子育て支援拠点の概要について （資料３により事務局より説明） 【吉田委員長】子育てサポートシステムは１時間いくらか。 【事務局】７００円です。（→後で８００円に訂正。） 【吉田委員長】日曜日の開館はないようだが、それに対して住民の方からの声は聞いているのか。 【事務局】今のところ把握はしていない。 【吉田委員長】父親の子育て参加が活発になると、会社が休みの日にお父さんが利用したいということが多くなる。 【松浦委員】利用者の年齢は何歳までなのか。 【事務局】未就学児である６歳までとなっている。ただし子育てサポートシステムは小学生まで利用できる。 【吉田委員長】きょうだい児の小学生が一緒に来た場合は。 【事務局】受け入れている。今年については、コロナの影響で新１年生を送り出しできなかったので、積極的に１年生も受け入れる日を設けた。 【小野委員】サポートシステムの利用料は非課税や生活保護の世帯もかかるのか。 【事務局】収入状況関係なく一律の金額となっている。 【小野委員】新型コロナウイルスの状況で今の開館状況はどのようになっているのか。 【事務局】11 月に入ってから通常の時間に戻っている。緊急事態宣言下は閉鎖をしていたが、その後予約制で午前・午後に分けて再開し、上限人数などを定めて実施してきた。現在は上限人数を撤廃し予約制も取らずに実施しているが、昼食は１階のひろばではＮＧとなっている。２階の会議室で時間・曜日を決めて昼食ＯＫとしている。 【吉田委員長】コロナ対応の方法は横浜市全区一緒か。 【事務局】基本的には市の方から基準が示されている中で、運営者と区で相談しながら、創意工夫をして基準を満たしながら実施してもらっている。 ４　地域子育て支援拠点事業５か年度のまとめについて （資料４により事務局より説明） 【今井委員】子育てサポートシステム説明会について、令和元年度の地域出張が少ないのは、何か理由があるのか。 【事務局】コロナの影響があって出張説明が減っている。ケアプラザ主催の講座等で説明の時間をもらったり、別の事業とタイアップして２、３月に予定していたものが無くなった。 【吉田委員長】専門相談の中に心理職のカウンセリング等は含まれていないのか。 【事務局】他区拠点では専門職の相談があるところもあるが、緑区では繋ぎがメインということで現時点では考えてはいない。 【松田委員】５年間の中で利用者に大きな怪我やトラブルはあったか。それに対してど

	のように対応しているのか。また、昨年の台風や今年のコロナ等、危機管理の状況はどのようになっているか。 【事務局】大きな事故やトラブルがあった場合は、区に報告を上げてもらうことになっているが、個人情報の漏えいや子育てサポート活動中の事故があった。保険で対応したケースもあった。あってはいけないことだが、事故が起こった場合は、再発防止の対策について、区と拠点の双方で検討をしている。 危機管理の部分については、市からの委託となっているので市からの共通のルールを基に、区と拠点でルールを設定している。天災については何時時点で警報が出ている場合は休止とするなどのルールを定めているのと、施設長と区で連絡が取れ情報共有ができる体制をとっている。 【井上委員】提供会員を増やしたいエリアとして長津田・鴨居とあり、高齢化で退会者が増えているとあるが、それを防ぐためにどのような方策を行っているのか。 【事務局】ケアプラザ等に出向いて、高齢者向け事業の最後に時間をいただき説明を行っている。重点の声かけ層として高齢者の方をターゲットとしていた。ケアプラザや老人クラブ、介護予防を地域で行っている団体などにお声がけをさせてもらった。ただ結果としてはあまり芳しくなかったが、そのような取り組みをしている。活動が少ないため辞めてしまうということがないように、いっぽのひろばのお試し預かりにスタッフとして入っていただき、モチベーションを維持してもらうなどしている。どこにお声がけするとよいか、委員の皆さま方でどこかあればお声かけを頂戴したい。 【井上委員】長津田地区は連合自治会、社協、民児協、ケアプラザの連携が取れている地域だが、このような情報がなかなか地域に入ってこない。情報を入れていただければ、協力出来る事は協力していきたい。 【事務局】ぜひお願いしたい。 【髙林委員】鴨居・東本郷地区のボランティア団体の交流会で説明をしてもらった。 高齢者の方がボランティアに興味が無いわけではないが、講習を受けに行かなければならない、いっぽにいかなければならない等、手続きが面倒でしぶっている方がいる。出張して鴨居地区で研修会を開いていただくなどをすると高齢者でも参加しやすくなるので、そのような工夫をお願いしたい。 【吉田委員長】活動自体がご近所でのものなので、手続きも近所で済めば活動者は増えるかもしれない。いろいろな団体と連携はしているようだが、連合自治会に情報が行かないなど、既存の団体に情報がいっていない事もあるようなのでネットワークを広げて欲しい。活動者同士のネットワークは広がっているようだが、地域に根を張っている団体は情報をたくさん持っているので、ぜひ情報を入れて欲しい。 国で女性の就労率100％と言っているが、そうなると高齢者でないと時間が無いということ。元気な高齢の方に活躍していただいて地域の中で交流

が深まるといいと思う。

子育てサポートシステムの中の活動で、会員の交流会は行っているのか。

【事務局】行っている。活動での気づきなども報告してもらっている。

【吉田委員長】国がサポートシステムを立ち上げる前に、地域で行っていた団体に調査に入っていたことがあるが、２本柱がしっかりあり、地域で子どもを預けるだけのシステムではなく、地域の人たちの関係を繋ぐシステムだったが、進むにつれて子どもを預かるシステムにシフトしてきてしまった。

できれば高齢者の方が参加するようにして、知り合いが地域でお互いに増えるように交流会を頻繁にやっていただくといいと思う。

静岡で関わっているケースで、一人暮らしの高齢者がサポートの支援者だった時の子どもの発表会や運動会に呼んでもらったり、その様な関係がずっと続いていくと、地域もお互いに住みやすくなるのではないかと思う。

交流会はとても大切だとおもう。

【松浦委員】いっぽ独自ではないかもしれないが、高齢者施設に赤ちゃんを連れていくと、高齢者の方が喜んでとても元気になる。お母さん達も家に祖父母がいないので、お互いに良い影響があると運営委員会の人に聞いた。

【髙林委員】十日市場しかないので、行きたくてもなかなか行けない人がいる。鴨居や中山にサテライト的なものどうか。

【事務局】他の区ではサテライトがある区がある。隣の都筑区では鴨居から近いららぽーとにサテライトがある。どこの区と決まっている訳ではないが、市中期計画の中でサテライトを進めていくとなっている。もし緑区でサテライトを作るとなれば、子どもの数や社会資源の多寡も勘案しながら、検討していくことになる。

5　運営法人の選定方法等について

（資料５、６により事務局より説明）

【吉田委員長】次回の会議当日に事前評価したものを持って来ればよいのか。

【事務局】当日持ってきて欲しい。万が一欠席となってしまう場合は事前に事務局に提出をお願いしたい。法人のプレゼンテーションを受けて、評価を修正していただいて構わない。

【小野委員】プレゼン、質疑は何分くらいか。

【事務局】プレゼンは 15 分程度で質疑は必要に応じてとなる。

【松田委員】基本的事項は×２となるのか。

【事務局】資料６の記載が正しく×２となる。

【吉田委員長】第２回選定委員会では最初に流れを確認した後、法人からのプレゼンテーションがあるということでよいか。

【事務局】そのとおりです。

【今井委員】感染症対策については、どこで評価するのか。

	【事務局】評価指標に「変化する子育て環境やニーズへの対応」として、ひとつ追加している項目がある。ここの部分でコロナも含めて子育て環境の変化への対応について提案してもらう。 【髙林委員】評価の修正はどのようにつければよいか。 【事務局】集計時にわかるように記載していただきたい。 ＜終　了＞
資料・特記事項	＜資料＞ １【資料１】委員名簿 ２【資料２】選定委員会について ３【資料３】緑区地域子育て支援拠点の概要 ４【資料４】緑区地域子育て支援拠点事業５か年度のまとめ ５【資料５】運営法人の選定方法について ６【資料６】横浜市緑区地域子育て支援拠点運営法人選定委員会評価指標 別冊参考資料 （１）横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会運営要綱 （２）横浜市緑区地域子育て支援拠点運営法人及び子育てひろば私立常設園選定委員会要綱 （３）横浜市緑区地域子育て支援拠点の運営者の選定に関する要綱 （４）横浜市緑区地域子育て支援拠点事業実施要綱 （５）横浜市緑区地域子育て支援拠点運営法人募集要項 （６）平成 28 年度横浜市緑区地域子育て支援拠点事業仕様書（案） （７）横浜子育てサポートシステム事業実施要綱 （８）横浜子育てサポートシステム事業実施要領 （９）横浜子育てサポートシステム会則 ＜特記事項＞ 次回は、12 月７日（月）９時 30 分から 12 時　緑区役所３階会議室３Ｂにて開催。